

市ではどういった対応をとっているの？

都留市においても地方公共の秩序の維持、住民の安全、健康および福祉を保持する観点にたち、市民へ積極的に情報を提供し、この問題を回避するように努めていきます。

具体的内容としては

- 第一に、市の保有するシステム（機器）を二〇〇〇年以降も対応できるように修正したり、模擬テストの実施などの予防対策を行います。
- 第二に、不測の事態に備え、各業務・システムごとに行動計画をたて、緊急時に迅速に対応できるように、危機管理計画を策定し、二段構えの対策をとり、万全を期していきます。

このように、問題が起こる前と後の対策を講じていますが、中にはご心配の方も少なからずいることとあります。直接皆さんに関係するとすれば、証明書類の発行や医療機関への受診などが特に心配になる項目だろうと思います。

市県民税などの証明・収納業務に問題が出た場合には、既に作成済みの「手作業マニュアル」に従い対応することとなっているほか、住民票や印鑑証明の発行も十二月二十八日現在の住民基本台帳に基づき手作業で発行しますが、戸籍の証明につきましては一部発行できない場合もあります。なお、これらの証明書類を来年早々ご利用される方で、本年中の交付日でも差し支えない方は、できるだけ年内に発行を受けるようお願いいたします。

また、市立病院は、数年前からこの問題に取り組んできたため、医療機器についての問題はないものと考えていますが、万が一を想定し年末年始にかけては、職員を動員するなど万全な体制で対応することとしています。

個人レベルでの対応は？

▼数日から一週間分ぐらいの防災物資を蓄えてください。

それは保存のきく食料、水、十分な処方薬やそのほかの薬です。

▼毛布、コート、帽子、手袋などを防寒のために備えてください。

▼電気、ガスの供給がストップの場合も考えて、代替調理器具を使うことも考えておいてください。

▼手元にいくつかの懐中電灯と予備の電池を備えてください。

▼影響が考えられる次のコンピューター制御の電気設備をチェックして、不安な場合にはメーカーにお問い合わせください。

火災警報機システム、電気機器、一般電子機器、電子ロック、埋め込みチップによって制御されているそのほかの家庭設備機器です。

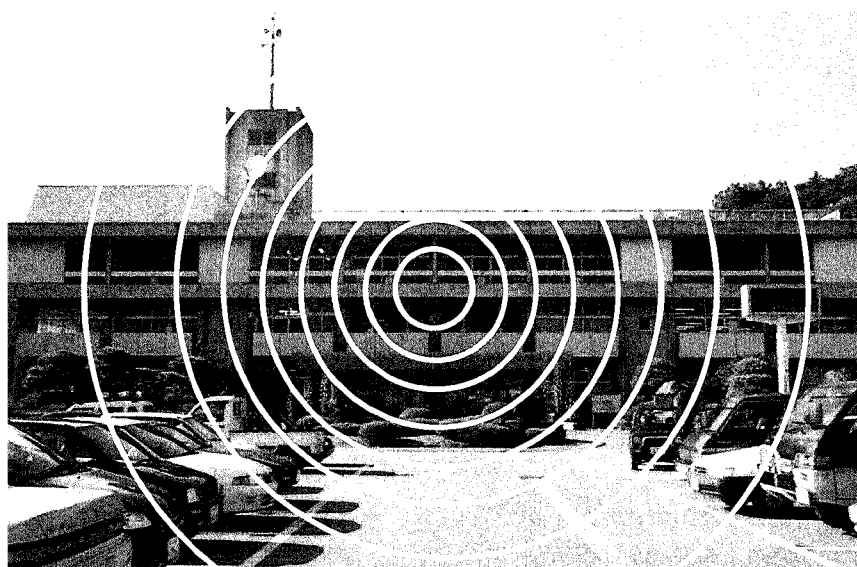
▼ATM（現金自動預け入れ支払機）カードやクレジットカードな

どのコンピューター制御の機械が使えなくなることを考え、いくらかの現金をお持ちください。

▼各種燃料（車、暖房器など）は満タンにしておいてください。た

だし、ガソリンをポリ容器などで備蓄するのは避けてください。

（アメリカ赤十字社推奨のコンピューター二〇〇〇年問題へのチェックリスト参考）



市では危機管理計画を策定し、緊急時には迅速に対応できるよう万全の体制で臨みます

備えあれば憂いなし